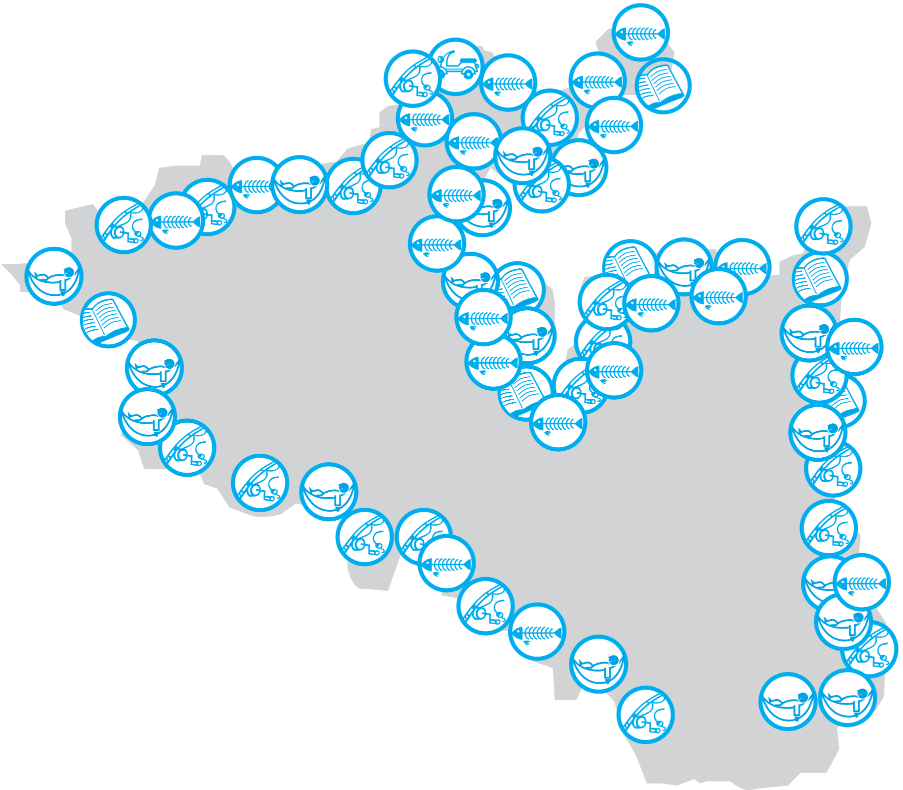
お金をかけずに海辺を楽しむ

いえしま(家島群島)は、最も多くの人が生活している家島本島でも周囲約15kmの大きさであるため、電車やバスといった移動手段が存在しない。島の地形は急峻で道が細いため、島の人たちは徒歩や原付を主な移動手段としている。いえしまは都市に比べて狭い範囲内で数多くの生活行為を満たしてくれる場所が存在しているようだ。特に今回、僕らがいえしまを訪れて驚いたことは、いえしまの「海辺」が数多くの生活行為を満たしてくれる場所であったことだ。いえしまの海辺はきれいに整備された空間とは言えないかもしれないが、昔から人々の日々の暮らしと密着した空間だった。だから島の人たちは楽しく・便利に生活するために海辺をうまく使いこなしてきた。今回僕らはいえしまの海辺を歩き回って、海辺でお金をかけずに享受できる生活行為の風景をたくさん写真に収めた。そして、それらの中から僕ら都市に住む僕らが面白いと感じた5つの行為を選び出した。

日々の暮らしと密着したいえしまの海辺



学ぶ

NPOの人たちから特産品の話を聞く

おかみさんから魚のさばき方を教わる

漁師の海の環境への取組みの話を聞く

いえしまの漁業の方法を学ぶ

おじさんからイカのさばき方を学ぶ

いえしまの産業について話を聞く

おすすめ海辺の道を教わる

海辺の歴史について話を聞く

いえしまの人たちは海辺に関する知識が豊富だ。僕らはいえしまの人たちと出会うことで、海辺の環境や歴史、生活の知恵など様々なことを学ぶことができる。